

東日本大震災復興支援チャリティー 身体障がい者チャリティー

第17回オープントーナメント全福島空手道選手権大会

『第3回全日本ジュニアファイナルカップ選抜大会』

関係各位

(一社)国際空手道連盟 極真会館
NPO法人 極真カラテ 門馬道場
師範 門馬智幸

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

今年も須賀川市の文化施設である須賀川アリーナで「オープントーナメント全福島空手道選手権大会」を開催致します。

昨年は、まだまだコロナ禍ではありましたが、感染防止対策を徹底し3年ぶりに開催することが出来、全国から選手が集い、585名が白熱した戦いを繰り広げました。その選手達の戦いに、主催者側も励まされ、また、来場された皆さまと感動を共有できたものと確信しております。

この大会は、空手道を修行する方々、特に健全なる青少年に、日頃の鍛錬の意義及び成果を試す機会を提供する事で、『強い精神力』と『礼節』をもった健全な人間形成を目指すと同時に、日本古来の武道である『空手』に対する意識向上や技術向上を図る機会になり得ると考えます。

誠に僭越ではございますが挨拶かたがた案内申し上げます。

敬具

記

1. 大会名称 「第17回オープントーナメント全福島空手道選手権大会」
2. 開催日 令和5年9月24日(日)
3. 時間 選手受付 午前8時 開会式 午前8時45分～
4. 会場 須賀川アリーナ(福島県須賀川市牛袋町5)
5. 主催 (一社)国際空手道連盟 極真会館 (世界総極真)
6. 主管 NPO法人 極真カラテ 門馬道場
7. 添付資料 ①「大会申し込み案内」、『第3回ジュニアファイナルカップ出場権について』
②「判定基準について」 および 「出場部門について」
③「試合時間」、「防具規定及び注意事項」、「参加選手注意事項」
④ 大会参加申込書 (お手数ですが、申込用紙はコピーしてお使い下さい)

【大会事務局】 〒962-0837 福島県須賀川市高久田境 99-1

NPO法人 極真カラテ 門馬道場

大会事務局 TEL(0248)63-7005/FAX (0248)63-7006

メールアドレス fukushima@kyokushin-monma.com

第17回オープントーナメント全福島空手道選手権大会

『第3回全日本ジュニアファイナルカップ選抜大会』申込案内

1. 出場資格 道場稽古ならびに日常生活において粗暴な振る舞いをせず、
武道空手の大会出場に相応しいと道場責任者が推薦した門下生。
2. 出場部門 別紙を参照
3. 申し込み 中学生以上においては、顔写真1枚(4×3cm)を参加申込書に貼付ける。
4. 参加費 1部門参加 6,000円
2部門参加 7,000円
※中学生以上は2部門の参加が可能。
5. 選手保険 「スポーツ保険」などへの加入は、各自道場での加入をお願いします。
主催者側は、試合中の負傷・事故等が生じた場合の責任は一切負いません。
6. 申込締切 令和5年7月31日(月)
※ 申し込み用紙、参加費を添えて、道場一括でお願いします。
※ 選手側の都合による棄権の場合、参加費は返金できません。
※ 大会参加費は現金書留にて、郵送して下さい。

少年少女全国選抜 空手道選手権大会

「第3回全日本ジュニアファイナルカップ大会」出場権について

福島県大会は、一般社団法人国際空手道連盟(世界総極真)が2024年2月に開催する「第3回全日本ジュニアファイナルカップ大会」の選抜大会です。

日付：令和5年2月17日(土)・18日(日)

場所：横浜武道館

対象：①各選抜大会の上位4名。

②出場権を得ている選手と対戦し、準々決勝で敗れた者

H P：http://www.kyokushin-junior-finalcup.com

※権利者は世界総極真の「全日本ジュニアファイナルカップ 公式ホームページ」を参照して下さい。

部門：幼年～高校生の部

主催：(一社)国際空手道連盟 極真会館 (世界総極真)

主管：(一社)国際空手道連盟 極真会館 釘嶋道場

《 判定基準について 》

「組手の勝敗の判定」

組手の勝者は、「一本勝ち」、「判定勝ち」、「相手選手の失格」、「棄権による勝ち」、により決定される。

【一本勝ち】

- 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた場合は一本勝ちとする。

【技有り】

- 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3秒以内に立ち上がった場合。またはそのダメージにより一時的に動きが止まったときや、大きく崩れた場合。
- 足掛け、または前蹴りや下段の合わせ技で相手をきれいに倒したときは技ありとする事も有り得る。
- 技あり2本で合わせ一本勝ちとする。

【判定】

- 一本勝ち、失格がない場合は判定で決定する。
- 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の審判の判断を有効とする。3審制の場合は副審2名、主審と合わせて2名以上の判断を有効とする。

【延長戦】

- 判定で主審1名、副審4名のうち、3名以上の審判の判断がない場合は引き分けとし延長戦を行う。3審制の場合は上記の「判定」内容と同様。
- 延長戦で決着が付かない場合は体重差により軽い方を勝者とする。
- 体重差でも決着が付かない場合は最終延長戦にて勝者を決定する。

【反則】

- 次の場合は反則とする。
 - ①手技による首から上へ(首をふくむ)の攻撃。
 - ②金的蹴り、頭突き。
 - ③倒れている相手への攻撃。
 - ④背後からの攻撃。
 - ⑤掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。
 - ⑥技の掛け逃げ。
(蹴ってすぐに倒れる等を繰り返す)
 - ⑦何度も場外に逃げた場合。
 - ⑧その他、審判が特に反則とみなした場合。
- 反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、失格も有り得る。

【減点】

- 次の場合は減点1とする。
 - ①注意を2回与えられた場合。
 - ②悪質な反則を行った場合。
 - ③審判の判定により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【失格】

- 次の場合は失格とする。
 - ①減点2となった場合。
 - ②試合中、審判員の指示に従わない場合。

- ③粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた場合。
- ④見合ったままの状態でも1分以上経過した場合。この場合は戦意喪失として、両選手とも失格とする。
- ⑤応援態度が悪質で目にあまるときは選手の減点または失格も有り得る。
- ⑥試合の順番に遅れたり、出場しない場合。

「型の勝敗の判定」

【判定基準】

- 型の大意は、以下の六項目から成り立ち、その優劣を競うものとする。
 - ①正確さ
 - ②力の強弱(パワー)及び気迫
 - ③身体の伸縮、転身
(スピード、ジャンプ力、バランス)
 - ④技の緩急(リズム、メリハリ)
 - ⑤息の調節
 - ⑥型の「流れ」と表現力

【失格】

- 次の場合は失格とする。
 - ①規程の型と演武している型が違った場合。
 - ②動きを忘れ完全に止まったり、三度以上型を間違えた場合。
 - ③直ちに修正出来ないくらい、完全にバランスを失ったり、倒れたりした場合。
 - ④著しく覇気に欠け精彩がない場合や、道場生らしからぬ態度が認められた場合。

【減点】

- 減点5の基準
 - ①立ち方、部位の形、技などにおいて極端な癖があり、それらが明らかに不正確な場合。
 - ②技の脱落や気合いのかけ忘れ、技の順序や方向など、一度でも型を間違えた場合。
 - ③力の抜き差しが全くなく、かつ、必要とする瞬間に力が一点集中していない場合。
 - ④仮想敵を捉えておらず、目付けが不正確な場合。
 - ⑤直ちに修正は出来たが、大きくバランスを失った場合。
 - ⑥技の緩急やリズムがなく、型の「流れ」が単調で、全くメリハリがない場合。

●減点3の基準

- ①立ち方、部位の形、技などにおいて若干正確性に欠ける場合。
- ②気合いが小さく、覇気が認められない場合。
- ③無駄な「力み」により、若干技の乱れを誘発している場合。
- ④微妙なバランスの崩れがあり、安定感がないと見受けられた場合。
- ⑤技の緩急やリズムがなく、型の「流れ」に若干メリハリが足りない場合。

●減点1の基準

- ①覇気は認められるが、若干気合いが小さい場合。
- ②動作と呼吸の調和が、若干乱れていた場合。
- ③安定感はあるが、微妙なバランスの崩れが見受けられた場合。
- ④残心が疎かになった場合。
- ⑤動作における一瞬の躊躇、必要以上の「間」など、型の「流れ」に若干の淀みがある場合。

【試合放棄】

- 正当な理由なくして試合を放棄した時は、15万円以下の弁償金を支払わなければならない。
ただし、下記の場合は例外とする。
 - ①大会医師の診察を受け、試合続行不可能となった場合。
 - ②大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判長・審議委員長・大会弁護士が協議の上、退場を許可した場合。

《 出場部門について 》

1. 幼年組手の部(未就学児)

- 年少～年長（男女別）

2. 少年少女組手の部(小学1年生の部～6年生の部)

- 1年生の部～6年生の部（男女別）

3. 中学生・高校生・一般・シニア組手の部

●女子

- 中学1年生女子の部(45kg未満は軽量級、45kg以上を重量級)
- 中学2年生女子の部(50kg未満は軽量級、50kg以上を重量級)
- 中学3年生女子の部(50kg未満は軽量級、50kg以上を重量級)
- 高校生女子の部(52kg未満は軽量級、52kg以上を重量級)
- 女子シニアの部(35歳以上)
- 一般女子の部(53kg未満は軽量級、53kg以上58kg未満は中量級、58kg以上を重量級)

●男子

- 中学1年生男子の部(50kg未満は軽量級、50kg以上を重量級)
- 中学2年生男子の部(55kg未満は軽量級、55kg以上を重量級)
- 中学3年生男子の部(55kg未満は軽量級、55kg以上を重量級)
- 高校生男子の部(65kg未満は軽量級、65kg以上を重量級)
- 男子シニアの部(38歳以上)
- 一般男子の部(65kg未満は軽量級、65kg以上75kg未満は中量級、75kg以上を重量級)

※出場人数が少ない部門においては、統合または中止も有り得る。

※軽量の選手は、開会式までに計量を行って下さい。

○計量は、本部司会席の後方で行います。空手着を脱いで計量しても可能です。

○計量の結果、規定体重より2キロ以上上回った場合、全試合減点1とし、3キロ以上上回った場合は失格となります。

軽量級出場者は、無理な減量をしないように気を付けて下さい。

4. 型の部(中学生以上が対象で男女別) ※フラッグ式により行います。

○型 一般女子(中学生以上)

○型 一般男子(中学生以上)

※規定型Ⅰ……平安そのⅡ。

※規定型Ⅱ……撃砕大、撃砕小、最破、征遠鎮、臥竜、十八、観空、五十四歩から選択。

演武する型は、基本的に極真会館にて制定している種類に限る。

ただし、それら以外の型でも審判員が型講習会等で既に修練している型であれば特例も有り得る。(詳細はお問い合わせ下さい。)

※予選……規定型Ⅰを演じ、2名ずつ行う。

※本選……準々決勝からの試合は規定型Ⅱを演じ、1名ずつ行う。

【試合時間】

◆幼年・小学生の部・中学生の部

本戦1分30秒・延長1分・再延長1分・体重判定・最終延長1分	体重判定3kg差以上を有効
--------------------------------	---------------

◆高校生・女子・シニアの部

本戦2分・延長2分・再延長2分・体重判定・最終延長2分	体重判定5kg差以上を有効
-----------------------------	---------------

◆一般の部

本戦2分・延長2分・再延長2分・体重判定・最終延長2分 (準決勝以降は、本戦3分)	体重判定5kg差以上を有効
--	---------------

※全部門において体重判定で規定の差がない場合は、最終延長戦を行う。

【防具規定及び注意事項】

部 門	頭	拳	脛	膝	胸（下記参照）	金的	マウスピース
幼年の部	○	○	○	任意	×	○ (女子は任意)	任意
小学生の部	○	○	○	任意	小学4年生以上の 女子は任意	○ (女子は任意)	任意
中学生の部	○	○	○	任意	女子は任意	○ (女子は任意)	任意
高校生の部	×	○	○	任意	女子は任意	○ (女子は任意)	任意
一般女子の部	×	○	○	任意	任意	任意	任意
シニアの部	×	○	○	任意	女子は任意	○ (女子は任意)	任意
一般の部	×	×	×	×	×	○	任意

※ サポーターと赤の腰ひもは各自で用意する事。

※ ヘッドギアは、主催者側でも準備しますが、衛生面を考慮して、各自のものを着用することが望ましい。
ヘッドギアは全面にガード(樹脂素材、軽金属素材)があるもの。無いものは使用禁止とする。

ヘッドギアは飛まつ防止対策のためのフェイスシールド、マスクの着用は任意とする。

ヘッドギアは目の部分が開いているものは使用禁止。

赤側で試合の場合、ヘッドギアの後ろと両側に赤テープなどを貼る。(赤テープは試合コートでも準備します。)

※ 拳、脛、膝は布製のサポーターとし、グローブは認めない。

※ 脛サポーターが膝を被う場合、膝サポーターは使用不可。また大腿部までガードされる形は認めない。

※ チェストガードはプラスチック製や腹部にかかる形は使用禁止。

※ 度を越した毛染め、装飾(指輪、ミサンガ、イナズマ等のライン含む)や「帯止め」は認めない。

※ 選手は爪を短く切り、手足に何も持たない・つけない。

※ 判定に対する抗議は一切認めない。

※ 過度の刺繍等が付いている道着の着用は認めない(原則、胸の道場名の刺繍及び道場ワッペンのみ)。

※ ゼッケン(後日郵送します)は縫い付ける事。ガムテープなどは認めない。

※ テーピング類は、大会医師の許可が必要。

※ 試合中の負傷又や事故が生じた場合、主催者は一切責任を負わない。

※ 武道空手の大会です。礼節ある応援と観戦をする事。

第17回オープンナット全福島空手道選手権大会

第3回全日本ジュニアファイナルカップ選抜大会

開催日:2023年9月24日(日) 会場:須賀川アリーナ 主管: NPO法人 極真カラテ 門馬道場

写真(のりづけ)

Photo

- 縦4cm×横3cm
- 本人単身胸から上

中学生以上のみ貼付

大会会長 殿

私儀、下記の通り、本大会のルールに従って、
正々堂々技を競い合うことを、ここに誓います。

I, the undersigned, do hereby swear that I will
obey the rules of this tournament and fight fairly.

令和 年 月 日

出場部門(部門No.を○で囲む)					
1	型一般女子(中学生以上)	15	小学6年生(女子)	29	高校生(女子)軽量[52kg未満]
2	型一般男子(中学生以上)	16	小学6年生(男子)	30	高校生(女子)重量[52kg以上]
3	幼年(女子)	17	中学1年生(女子)軽量[45kg未満]	31	高校生(男子)軽量[65kg未満]
4	幼年(男子)	18	中学1年生(女子)重量[45kg以上]	32	高校生(男子)重量[65kg以上]
5	小学1年生(女子)	19	中学2年生(女子)軽量[50kg未満]	33	女子シニア[35歳以上]
6	小学1年生(男子)	20	中学2年生(女子)重量[50kg以上]	34	一般(女子)軽量[53kg未満]
7	小学2年生(女子)	21	中学3年生(女子)軽量[50kg未満]	35	一般(女子)中量[53kg以上58kg未満]
8	小学2年生(男子)	22	中学3年生(女子)重量[50kg以上]	36	一般(女子)重量[58kg以上]
9	小学3年生(女子)	23	中学1年生(男子)軽量[50kg未満]	37	男子シニア[38歳以上]
10	小学3年生(男子)	24	中学1年生(男子)重量[50kg以上]	38	一般(男子)軽量[65kg未満]
11	小学4年生(女子)	25	中学2年生(男子)軽量[55kg未満]	39	一般(男子)中量[65kg以上75kg未満]
12	小学4年生(男子)	26	中学2年生(男子)重量[55kg以上]	40	一般(男子)重量[75kg以上]
13	小学5年生(女子)	27	中学3年生(男子)軽量[55kg未満]		
14	小学5年生(男子)	28	中学3年生(男子)重量[55kg以上]		

氏名 ふりがな Name	性別		男・女
	Ⓜ		
生年月日 Date of Birth	年齢 Age		
職業・学校名 Occupation	学年 a school an year		
所属道場 Dojo Name			
現住所 Address	(TEL)		
段位 Dan	段・級	修業年数 Experience	年 月
身長 Height	cm	体重 Weight	kg
出場部門 Participation class	(部門No.、部門名記入)		
戦歴 War Career	(※現時点でのファイナルカップ出場権利の獲得 有り・無し) ○で囲む。別紙参照		